

## Ⅱ 勤務状況

### 1 勤務形態

今回の調査における会員の勤務形態は、正職員が93.3%(93年調査93.7%)である(統計表第44表)。

### 2 職位

会員の職位は「非管理職」72.7%(93年調査76.4%)、「中間管理職」23.0%(同19.4%)、「管理職」4.1%(同3.4%)(統計表第45表)。前回調査と比べて「非管理職」の比率が下がり、「中間管理職」「管理職」の比率が上がっている。

### 3 勤務場所

会員の勤務場所は「病院」が85.4%と最も多いが、93年調査の86.1%よりわずかであるが比率が下がった(統計表第48表)。

### 4 病院の属性

病院勤務の正職員について、病院の設置主体別に構成比の推移を示したものが(表3)である。

国公立系の比率が減り「医療法人・個人」の比率が1981年以来増加傾向にある。

勤務している病院の種類別では、「総合病院」49.1%、「一般病院」23.7%、「大学病院」11.6%、「精神病院」3.3%、「老人病院」3.0%、「療育を主とする病院」1.6%、「リハビリテーションを主とする病院」1.9%、「その他」3.6%、「無回答・不明」2.3%である。

### 5 現在の職場での勤続年数

現在の勤務先での平均勤続年数は、正職員11.1年(93年調査10.3年)で前回の調査と比較して長くなった。勤務場所別では「病院」11.2年(93年調査10.4年)、「保健所」12.9年(同10.3年)とそれぞれ延長している(統計表第53表)。

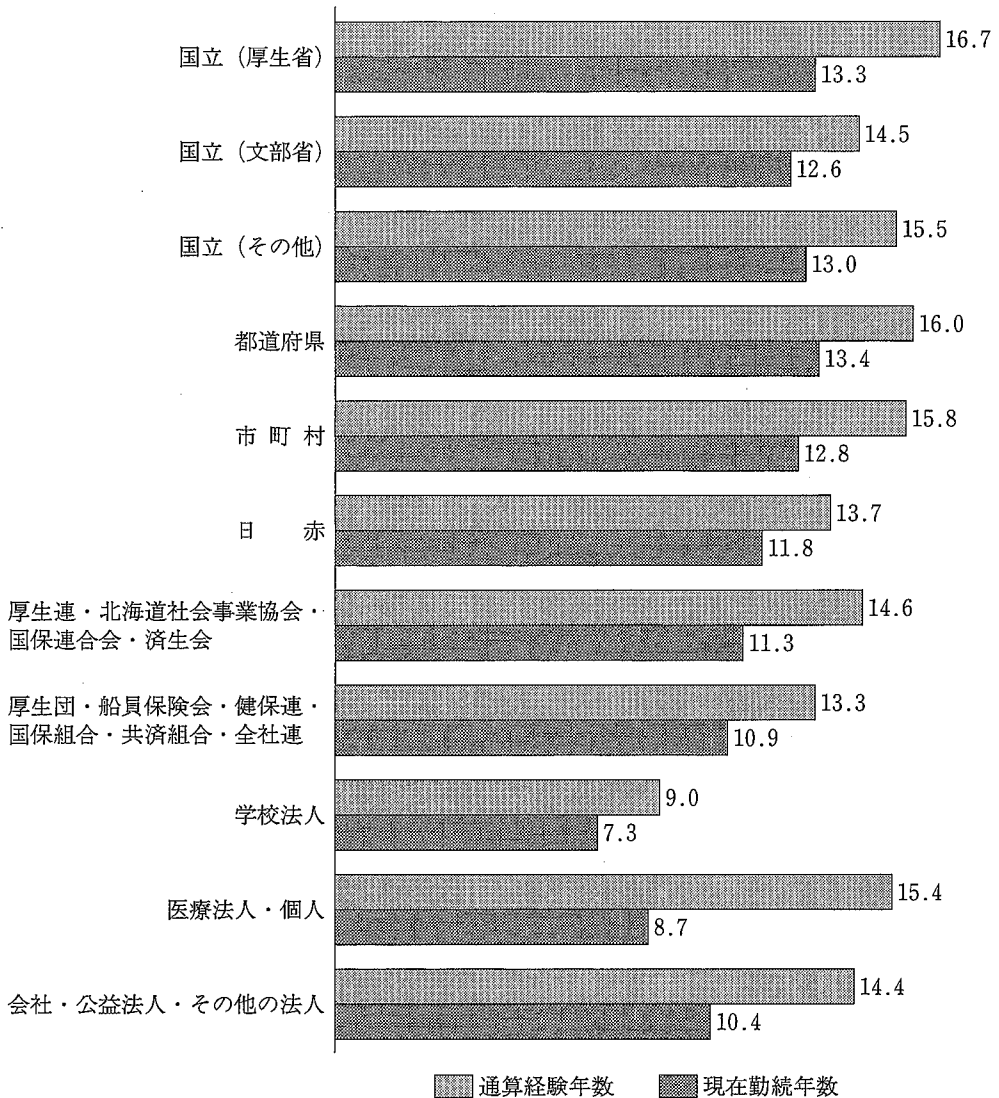
労働省が行った「賃金構造基本統計調査」結果からみると、平成8年度の女子雇用者の平均勤続年数は8.2年(男性13.1年)であり、会員の平均勤続年数はこれを上回っている。病院の設置主体別に経験年数と勤続年数との比較を示したものが(図10)である。医療法人・個人では、他の設置

表3 病院の設置主体別構成比の推移(病院勤務正職員)

(%)

調査年次	国(厚生省)	国(文部省)	国(その他)	都道府県	市町村	日赤	厚生連・北海道社会事業協会・国保連合会・済生会	社会保険関係団体	学校法人	医療法人・個人	会社・公益法人・その他の法人	無回答・不明
1981	13.0	6.0	5.4	15.4	17.7	5.6	7.2	6.0	4.4	9.9	5.5	3.9
1985	9.5	5.9	3.5	12.7	21.0	5.2	6.3	6.4	4.3	12.8	7.6	4.6
1989	8.0	4.8	2.1	12.0	19.8	5.8	6.8	7.7	5.3	17.3	9.7	0.6
1993	8.3	4.3	1.8	12.7	20.4	5.8	6.2	6.6	5.2	19.7	8.3	0.6
1997	7.1	3.7	1.2	11.5	20.4	5.2	6.4	6.0	5.6	23.5	8.2	1.2

図10 病院の設置主体別経験年数（病院勤務正職員）



主体と比べて平均経験年数と平均勤続年数の差が大きい（統計表第40表、57表）。これは93年調査と同様の傾向である。

## 6 転 職

転職（職場移動であって転勤・配置転換は含まない）の有無および回数について尋ねた。勤務先を変った経験が「ある」と回答している比率は

53.5%である。業務別にみると准看護婦・士の転職回数が69.4%と最も高い（統計表第59表）。

転職回数は、平均で1.9回（93年調査では1.8回）であり、年齢が高くなるにつれて増えるのは過去の調査と同様の傾向である（統計表第62表）。